

質 問 順 位	3	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 財政政策	1. 財政健全化計画の進め方	1. 財政健全化計画が12月中旬に策定されます。内容は年間5億円の収支不足を改善するもので、市の提案に対して、総務文教常任委員会で何点か意見を述べました。しかし、住宅改修支援事業に係る市単独補助分の見直しが折り込まれるなど、多くの市民や経営者が納得できない内容も含まれています。①新年度予算案の前に、広報たきかわ1月号などで早期に市民に周知し、市民の意見を十分に聞くべき②各施策の具体的な検討は、今後どのように進めるのか。		
2. 税務行政	1. 市税の滞納者に対する行政サービスの制限について	1. 「滝川市税の滞納者に対する行政サービスの制限」の実施から10年がたちました。全36項目のうち、下水道福祉料金、私立幼稚園就園奨励費補助金、学童保育減免制度、緊急通報システム、福祉除雪など低所得者・子育て支援・高齢者見守り制度が、滞納で使えなくなる制度は見直しが必要です。そこで、①上記の各サービスの制限実績について②道内35市や中空知の自治体での実施状況について③市税滞納者に対しては、差押えに加え、延滞金という罰則も実施しており、二重の罰則とも言える制度の見直しを求めます。		
3. 農業行政	1. TPP大筋合意と今後について	1. 10月5日の「大筋合意」に対する基本認識について①国会決議は守られたのか。守られていないとすれば、その項目と内容②農業分野では、かなり詳しく合意内容が知らされているが、特に空知・北海道への影響が大きく、検討・反対すべき内容について。③全30項目の中には、ISDS（投資家と国との間の紛争解決）や食品の安全、知的財産の保護、政府調達など、合意内容がほとんど公開されていないのではないか。		

質 問 順 位	3	質 問 者	清 水 雅 人 議 員		
件 名		項 目	要 旨	メ	モ
			2. 大筋合意後、重要な条約締結の動きに対して、①市としてどのような対応をしてきたか。②今後、2月以後の調印と、そのための情報開示、国会での承認審議と、そのための情報開示がされ、国民的な議論になるが、市としてどのように取り組んでいくのか。		
4. 交通安全対策	1. 市内の交通事故の分析について		1. 市内の交通事故の特徴について伺います。①総件数と季節的な特徴について（人身事故、物損事故）②道警HPの交通事故統計は人身事故のみで、物損事故は資料がない。しかし、物損事故は冬期間の方が多いことは、いくつかの資料からも明らかではないか。③物損事故を減らすことが人身事故を減らすことにつながることも明らかではないか。④市として物損事故の情報を滝川警察署から得て、分析すべきではないか。		
			2. 滝川市の次期交通安全計画の策定について		
	2. 交差点排雪の強化について		1. 交差点排雪の①費用②実施回数と時期③運転者の左右確認がしやすくなれば事故は大幅に減らせるのではないか。		

質 問 順 位	3	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
5. 下水道事業	1. 下水道使用料の事務委託について	1. 中空知広域水道企業団に、下水道使用料の算定に関する事務等の委託をしている。8月に出された異議申し立てに対する審査の過程で、市は毎月の使用量の算定、納入通知書の発行・送付、徴収までを事務委託していますが、市が行っている調定の方法に問題があることが明らかになった。納入通知書発行後に調定するなどはあってはなりません。そこで①調定を事務委託に含めることに、法令上の問題はあるのか②2万世帯近い調定を実質的に行うとすれば、どのような日程になるのか、また納付書の発行に遅れは生じないのか。		
		2. 事務委託の中に調定を入れることで、業務の重複を減らすよう、見直すべき。		
6. 市営住宅	1. 管理人の業務、人数、報酬総額について	1. 管理人の業務については、市の規則により文書を管理人に渡している。その内容の一部業務が形骸化していると考えるが、その認識はあるか。		
		2. 管理人の業務について、①入居者には周知されているか。またこれまでに周知文書の掲示・配布を行ったことはあるか。		

質 問 順 位	3	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		3. 管理人が決まっていない場合は職員が対応しているが、①現在の委嘱人数②決まっていない人数③管理人がすべて委嘱できた場合の年間報酬総額について。		
	2. 安心安全な市営住宅の維持のため管理人制度の改革について	1. 第2回定例会で公明党・日本共産党が代表質問で取り上げ「市営住宅の効率的な維持管理のため、管理人の必要性は今後もあると考えておりますが、各団地の状況を踏まえ、それぞれに合った取り組みを進めていきたいと考えております。また、管理人のあり方、それにかわる手法など、引き続き他自治体の状況も参考にしつつ検討を進めてまいりたいと思います」、「後任選任の状況、他市の状況、一元化についても参考にしつつ、今後のあり方について検討していきたいと考えております」と答弁されました。一部の市営住宅において、自治会などから「役に立たない管理人は必要ない」などの声が出ています。報酬との費用対効果についても検証が必要です。自治会役員が高齢化し、解散も危惧される中で、管理人報酬に見合う予算の効果を高めるため、嘱託職員が巡回したり、補助金として自治会に交付するなど、早急な検討を求める。		
7. 泉町土地区画整理事業	1. 泉町土地区画整理事業について	1. 自衛隊駐屯地正門前から300メートルほど南から西1丁目通のセイコーマート前の交差点に抜ける370メートルの市道（別に直線部分270メートル、面積9.5ヘクタール）を整備する計画は、総事業費が、当初の3億3,000万から4億3,500万円以上に増え、16年度着工、17年度完成に向け、地権者との調整作業が進められています。そこで①今から凍結・中止する場合の問題点は何か。②また返還すべき補助金等が発生するとすれば、その金額について。		

質問順位	3	質問者	清水雅人 議員	
件名		項目	要 旨	メ モ
			2. 一方、市の財政は、毎年5億円以上の健全化計画が立てられ、さまざまなサービス削減が進みます。小中学校の改築計画も、財政との関係で、建替えや、長寿命化などの大規模改修を大幅にペースダウンする可能性を示唆する公式な発言等があり、予断を許しません。予算の優先度を勘案し、今からでも凍結・中止すべきではないでしょうか。	
8. 教育行政	1. 学校整備方針策定について	1. 開西中学校、滝川第三小学校が建替えられ教育環境が前進しました。今年度中には次期の学校整備計画（10年間）と適正配置計画が策定されます。 滝川第一小学校は50年間経過し、西小学校と滝川第二小学校は40年間経過しています。滝川第一小学校と西小学校については、大規模改修（補助対象の事業費限度額が2億円）を進めるべきです。2億円とした場合の概算について①補助金額②起債額③一般財源		
		2. 滝川第二小学校については、次の5年間に建替えか長寿命化改修を行うべきです。25億円の建替え事業を行う場合の概算について①補助金額②起債額③一般財源。また、15億円の長寿命化改修を行う場合の概算について④補助金額⑤起債額⑥一般財源。		
		3. 小中学校の建替え・改修のペースダウンは許されない。計画づくりが遅れている理由と影響、各学校での説明会の日程見込みについて。		